

患者の皆様へ

2023年11月06日
呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「後ろ向き、非侵襲、非介入の臨床研究： 原発性自然気胸に対するポリグリコール酸シートと再生酸化セルロースメッシュを用いたデュアルカバーリング手術後の周術期および術後成績に関する観察研究」に関する研究を行っています。

この研究では、自然気胸に対する当科における通常の胸腔鏡手術を受けた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「後ろ向き、非侵襲、非介入の臨床研究： 原発性自然気胸に対するポリグリコール酸シートと再生酸化セルロースメッシュを用いたデュアルカバーリング手術後の周術期および術後成績に関する観察研究」

2. 研究の意義・目的

原発性自然気胸に対する胸腔鏡下肺嚢胞切除・縫縮手術は全国的に行われておりますが、術後に約10%の気胸再発を発症するとされます。術後気胸再発を減少させるため、胸膜の補強としてポリグリコール酸シートと再生酸化セルロースメッシュを用いたデュアルカバーリング手術の有効性が、日産玉川病院から報告されており（1）、同手技の追加が必要と考えます。当院では、上記手術を通常の気胸手術として長期間施行しています。今回の研究は、その有効性・合併症を後ろ向きに調査することを目的にします。

(1)S Yamanaka, et al. A novel dual-covering method in video-assisted thoracic

surgery for pediatric primary spontaneous pneumothorax. *Surg Today*
2019; 49: 587-592.

3. 研究の方法・研究期間

本研究では、患者さんのカルテからデータを集積し解析を行います。

研究期間：倫理審査委員会承認 2023 年 11 月 10 日～2025 年 12 月 31 日

4. 研究費用負担のないこと

この研究に係る費用は、あなたが負担することはありません。ただし、一般診療に係る費用は、通常通り自己負担分をお支払い頂きます。尚、研究にご協力して頂いたことに対する金銭を含めた報酬はありません。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等の管理は、匿名化の上に千葉県済生会習志野病院呼吸器外科の鍵のかかったコンピューターで保管します。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関：千葉県済生会習志野病院

本件のお問合せ先：呼吸器外科

医師 溝渕輝明

047 (473) 1281